



学校だより

令和6年度 第2学期80日が終わります

早いもので、令和6年度の2学期も終わります。2学期初めに3年生が1名転入し、64名でのスタートをしました。それから80日、児童の大きな事故や病気等がなく、ある意味無事に今学期を終えられるのも、保護者の皆様をはじめ、ご家族、地域の皆様の見守りとご支援の賜物と感謝申し上げます。

今学期を振り返りますと、必ずしも平坦な道のりではありませんでした。

一部の学級で、人間関係が不安定な状況にあり、保護者の皆様が学校にお越しくださり、学校長や教頭と相談されるということもありました。その他、学校として指導の至らない点もあり、校長のところにお話をしに来られた方もいらっしゃいます。そうした、対話の中から、学校の中のことを知っていただき、児童を取り巻く環境や学校と保護者の皆様と理解し合うべき点などを見出していかなければならないと感じます。

お子さんのSNS、通信機器、スマートフォンの使い方は大丈夫？

下黒川小学校の児童は、一人一人、優しく、仲間思いです。また、学校の規則に気を遣い、集団生活のルールを守る意思の強い児童が多いです。

反面、都市部の学校の児童と同じく、教育情報機器や外に情報を発信できるスマートフォンなどの取り扱いに危機感をもつことも多々あります。

ネット環境には、気軽に書き込みができる掲示板がたくさんあり、何気ない書き込みをしたために名誉を傷つけられたとして訴えられ、裁判に発展するケースまであります。

校長自身、新潟県小学校長会の生徒指導の委員として2年間、「携帯電話・スマートフォンの所持と取り扱いに関する調査研究」に取り組みました。その一端をお知らせいたします。

新潟県の小学6年生は、スマートフォンを含むインターネットに接続できる機器の保有率が全国の6年生の平均よりもかなり高いです。また、県内の6年生は、SNS等不特定多数の書き込みができる掲示板機能を使ったことがある児童も多く、その中には、「巧みに個人情報聞き出された」「友達に成りすました大人に誘い出された」「脅されて金銭を要求された」「写真を送るように巧みに要求された」という危険な事例が数多く報告されています。

このような事例は「うちの子どもには関係ない」「下黒川の子どもにはいないだろう」というレベルではないと思われまます。

子どもたちは、こうした危険に接した時、「家族に心配をかけたくない」あるいは「スマートフォンなどを取り上げられたくない」と事実を隠し、どんどんと深みにはまることが考えられます。

日頃の親子、ご家族での対話こそがお子さんを守る砦となります。そして、危険な状況が発生しそう・発生した・気付いた、という時には、すぐに学校にお知らせください。市教育委員会や警察などと連携し、児童を守るためのチャンネルを学校はもっています。

今年は、1月1日が地震で始まりました。保護者様、地域の皆様が、年末・年始を穏やかに、そして、身近な方と心通わせて団欒を過ごせますように祈念申し上げます。令和7年も下黒川小学校の児童・職員をよろしく願い申し上げます。

今年も全校で書初めに取り組みます

【上越国語教育連絡協議会 書写技能認定 書初め会】

働き方改革のためか、標記の書初めに学校として取り組むのをやる学校が見られ始めた、という話を耳にしました。しかし、当校は今年も毛筆・硬筆で書初めに取り組みます。

今年も、書写指導者に川田の日木愛子先生をお迎えし、12月9日と11日に3年生から6年生までの児童がご指導をいただきました。



昨年度は、多くの児童が優秀や会長賞、2席などの上位の賞をいただきました。

今年は昨年度よりも、もっと上手になりたいと心に決めている児童も多いようです。

日木愛子先生からは、手本を超えて「審査する先生の目に留まる、太くて力強い書になるように」

と、心構えも指導していただきました。

1・2年生は、硬筆の書初めを新潟県書道教育研究会の硬筆書初め大会に出品いたします。書道の上手な下黒川小学校の児童たちです。公民館分館の書初め練習会や冬休みの宿題での保護者の皆様の指導で一層の上達を見せることと思います。

年明けの令和7年1月9日に全校書初め大会を予定しています。

6年生 平和の担い手講座

昨年に引き続き、大潟区にお住いの新保 啓吉先生をお迎えしました

12月10日（火）に、上越市教育委員会の講師派遣事業「平和の担い手講座」を、6年生を対象として開催いたしました。

講師の新保先生は、現在94歳。昨年は上越市指定（平和の）語り部として5名の6年生にお話をしてくださいました。今年は、18名の6年生に第2次世界大戦の始まりから当時の身近な国民の生活や学徒動員で勤労をさせられた中学校時代の思い出を中心にお話をしてくださいました。



新保先生のお話
に熱心にメモをとる
6年生の児童たち

新保先生は最後に、「平和は（与えられるものではなく）創り上げていくものです」とおっしゃられました。この言葉の重みを、子どもたちが思い出してくれることを期待します。

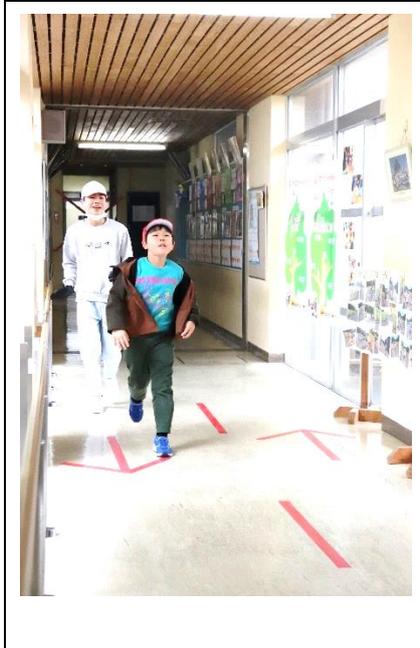
今日は戦争を経験した新保 啓吉様のお話をお聞きしました。94年間の経験で教科書には載っていないことも教えてくれて、分からなかったことを知りました。私が一番すごいと思ったことは、昔の人はたくさんの苦勞をしていたことです。子どもの頃から働かされたことや大変なことをあきらめずにやり続けていたことに昔の人のすごさを感じました。戦争を経験している人が少なくなりました。戦争のことを忘れずに生きたいです。（6年生Aさんの感想です）

11月30日

下黒川小学校「PTAお楽しみ会」

が行われました

上越タイムス 12月5日頸北版に掲載されましたのでご存じの方もおられることと思います。下黒川小学校PTAの恒例行事となりました。毎年PTA会長、副会長、本部役員の皆様が中心となって企画・運営をしてくださっています。内容は、テレビでおなじみのハンターが人々を追いかける「逃走中」、そして、「ビンゴゲーム」です。土曜日の午前中、子どもたちは思い切り楽しみました。



廊下を逃げる6年生、2年生



ハンター（上）とキーワード

- ・ハンターをかわしながら、ミッションを達成していきます。
- ・ミッションを達成すると封筒を受け取ります。
- ・封筒にはキーワードの紙が入っています。
- ・並べ替えると、戦国ジャンケンをするラスボスの正体に分かります。
- ・今年のラスボスは、「ラスボスは教頭先生か！・・・？」となりましたが、真実は？

下黒川小学校の児童が減少し、PTA会員数も同時に減少しています。

そのような中でも、「子どもたちに笑顔と楽しみを！」と毎年この会を続けてくださっています。また、この行事には柿崎区青少年育成協議会から財政支援をいただいで運営しています。書中ではありますが、支援に感謝申し上げます。

5・6年生修学旅行 株式会社「LION」平井研究所を訪問しました

11月20日（水）修学旅行初日に、柿崎区の学校に衛生用品を寄贈してくださっている株式会社「LION（ライオン）」様の平井研究所を訪問しました。

今回の訪問は、柿崎区まちづくり振興会、広報交流部会長の木村 芳明様からご支援をいただき実現することができました。区民の皆様もご存じのとおり、LION創業者 小林富次郎氏の育った地が直海浜であり、小林家の菩提寺があるというご縁で以前から交流がありました。下黒川小学校は新型コロナウイルス流行後、初めての東京への修学旅行。そして、会社訪問となりました。



<ライオン君もいただきました>



12月12日(木)

柿崎中学校区学校運営協議会委員交流会 (CS交流会)

標記の会が、下黒川小学校ランチルームで開催されました。

今年度は、下黒川小学校の学校運営協議会が当番幹事でした。河端CS会長様のご挨拶をいただき。中学校区のCS委員30名が一堂に会して「柿崎の子どもたちを育成するためにCS委員は何ができるか」と意見交流していただきました。



河端会長様の開会のご挨拶

グループ協議の発表会風景

協議の中で、「CSが学校にどれくらいかわかっていけばいいのか」「もっと教育活動に参画していくべきではないか」と前向きな発表がありました。委員の皆様の中には、充て職で、状況がよくわからないという声も聞かれました。

下黒川小学校の委員の皆様も今年、委員長様を筆頭に入れ替わりがありました。そのような状況でも、子どもたちのために、学校のためにと共に教育を考えていただいています。そのことに紙面を借りて御礼申し上げます。

【1月の主な行事予定】



<1月>

2025

- 1日(水) 元日
 - 8日(水) 3学期始業式
全校3限後下校
 - 9日(木) 校内書初め会3限
 - 10日(金) 発育測定2、3限
 - 13日(月) 成人の日
 - 14日(火) 植木カウンセラー来校日
 - 15日(水) 生活朝会
 - 17日(金) 委員会(高学年)6限
 - 20日(月) 校内書初め展 ~31日
- ※1、2年生は体育館渡り廊下のランチルーム前、3~6年生は中庭側に展示します。

- 21日(火) 避難訓練
 - 22日(水) 学校訪問カウンセラー
 - 24日(金) 心班大縄大会5限
(学習参観)
6年PTC1~4限
全校5限放課
- ※PTA本部役員会は、役員決定済みのため、実施いたしません。
- 31日(水) 生活朝会

